

公益社団法人 日本天文学会 理事会議事録

日 時：2020年3月16日（月） 14時00分～16時00分

場 所：筑波大学筑波キャンパス(つくば市天王台)計算科学研究センター 会議室C

出席理事：梅村、田村（元）、寺田（馬場）、鈴木、伊王野、鹿野、早野、長瀧、松田、
酒井、富田、田村（陽）、久野、浅田、佐藤（文）、山村

欠席理事：小出

出席監事：関井、大石

また、佐藤事務長、黒岩事務長補佐、田口谷事務長補佐が出席した。

なお、出席理事の梅村、鈴木、久野、および、出席監事の大石以外はオンライン参加である。

I. 確認事項など

I-1. 議事に先立ち、出席者が16名で定足数を満たし、本会が成立することが確認された。

I-2. 前回議事録の確認

資料2に基づき、前回（2019年12月27日）の理事会議事録が報告され、承認された。

II. 議題

II-1. 新規加入者および移籍（準 → 正）の承認（資料3、伊王野）

2019年12月24日～2020年3月4日までに正会員入会申請9名（2020年度からの正会員入会申請1名）、準会員入会申請3名、移籍（準 → 正）2名の申請があり、賛成多数で承認された。

II-2. 衛星設計コンテスト推進委員の次期委員（資料4、鈴木建）

衛星設計コンテスト推進委員会委員の松村知岳氏、和田武彦氏の2名が退任し、小高裕和氏が次期委員として推薦された。賛成多数で承認された。

II-3. 事務長の雇用期間について（資料5、梅村）

日本天文学会事務長の雇用期間を2021年3月末まで延長することが提案され、賛成多数で承認された。

II-4. メガコンステレーション(スターリンク衛星等)に対する「学会声明」について（資料6、鈴木建）

メガコンステレーション(スターリンク衛星等)に対して、「会長談話」という形で学会の意見を表明することが前回の代議員総会で確認されたが、「会長談話」ではなく「学会声明」という形で出すことが提案された。2020年5月の理事会および6月の代議員総会に声明案を提示し、9月の年会時の全体集会で会員の承認を得て声

明を出す予定である。本案を次の代議員総会に提案することが賛成多数で承認された。

II-5. 会員名簿の制作について（資料 10、鈴木建）

本年度発行する会員名簿に関して、（1）「天文教育施設、主な関係機関」の掲載を止めること、（2）海外在住者には希望者にのみ紙版を送付すること、（3）名簿に記載されていない名簿発行後の入会者へは送付しないこと、の3項目が提案された。次の代議員総会に提案することが賛成多数で承認された。

II-6. その他（資料 15）

天文教育委員長より監修者紹介プログラムについての紹介があった。

III. 報告

III-1. 移籍・退会等の報告（資料 3、伊王野）

2019年12月24日～2020年3月4日までに正一→準の移籍申請5名、準会員退会2名の報告があった。

III-2. 電磁的決議の成立(国際光工学会 2020 横浜大会(SPIE ASTRO 2020)への協賛) (資料 6, 鈴木)

2020年6月に開催される国際光工学会 2020 横浜大会に、日本天文学会が一般協賛団体として貢献することが電磁的決議によって可決されたことが報告された。

III-3. 国内研修支援金 2020 年度受給者について（資料 7、鈴木建）

2020年度の受給者（1名）を決定したことが報告された。

III-4. 春季年会に伴う各行事の中止、延期の状況について（資料 9、鈴木）

コロナウィルス感染拡大の懸念により春季年会を中止した。科学成果セッションはウェブに掲載することで「発表」とし、ウェブ不掲載は「講演キャンセル」扱いとする。また、各種授賞式、受賞講演、特別セッションは秋の年会に延期、公開講演会は7月に延期となった。ジュニアセッションは中止とし、予稿の提出をもって「発表」扱いとする。また、予定されていた記者会見の今後についての意見交換がされた。

III-5. 「大学で学ぶ天文学」について（資料 11、馬場）

将来天文学を学ぼうとする若者、また大学教員、学生、大学関係者に向けた資料（「天文学のすすめ（仮題）」、「大学で学ぶ天文学」）を大学教育の参照基準策定WGで準備していることが報告された。

III-6. 年会進捗状況等報告(資料 12, 浅田、佐藤)

秋季年会の準備状況が報告された。特別セッションが追加されたことを受けて4日目の会場を手配した。4月も大学が休校になった場合には9月に授業が移動する可能性があるため、流動的な対応が必要であることが確認された。また、2021年春季年会の準備状況が報告された。

III-7. 欧文事業の近年の推移と来年度事業規模について（資料 13、鹿野）

2013 度以降の欧文事業の年次推移が示された。概ね 200 編前後の投稿数と 150 編前後の掲載数で推移しており、総頁数も 2000 頁前後となっている。Impact Factor は、この数年上昇傾向にあり、2019 年の値はさらに上昇するとの予想もあることが報告された。

III-8. 学会ウェブページのリニューアル進捗報告（資料 14、田村）

会員向けの学会ホームページのリニューアルに関して、制作会社が決定し、3 月に契約を結び、8 月末の納品を予定していることが報告された。

III-9. 事業担当理事の近況

年会(酒井)：秋季年会の企画セッションを募集中であることが報告された。

月報(松田)：校正を外注したことにより、委員の負担が軽減した。海部先生のインタビュー記事の連載を予定していることが報告された。

PASJ(長瀬)：編集委員の増員について、および欧文研究報告論文賞の価値を高めるための案が紹介された。

庶務(鈴木)：特になし

会計(鹿野)：特になし

ジュニアセッション(山村)：特になし

天文教育(富田)：特になし

III-10. 事務所の近況報告：特になし

[資料リスト]

資料 1 理事会出欠表

資料 2 公益社団法人日本天文学会理事会（2019 年 12 月 27 日）議事録（案）

資料 3 加入者の承認。移籍の承認・報告、退会の報告

資料 4 衛星設計コンテスト推進委員の入れ替えについて

資料 5 事務長の雇用期間について

資料 6 電磁的決議の成立(国際光工学会 2020 横浜大会(SPIE ASTRO 2020)への協賛)

資料 7 2020 年度国内研修支援金受給者について

資料 8 メガコンステレーション(スターリンク衛星等)に対する「学会声明」について

資料 9 春季年会(筑波大学)に伴う各行事の中止、延期の状況について

資料 10 2020 年度会員名簿について

資料 11 「大学で学ぶ天文学」作成に向けてコメントのお願い

資料 12 2021 年春季年会(東京工業大学)の準備状況について

資料 13 欧文事業の近年の推移と来年度事業規模

資料 14-0 ネットワーク委員会活動報告

資料 14-1 ウェブサイト制作提案書

資料 14-2 ウェブサイトサイトマップ

資料 15-1 天文教育委員会より、前回理事会(2019 年 12 月 27 日)以降の活動報告と審議
お願い

資料 15-2 Guide on Contemporary Women in Astronomy 推薦に関する報告と相談

2020年3月16日

会 長：梅村 雅之 印

副会長：田村 元秀 印

副会長：寺田(馬場) 彩 印

監 事：大石 雅寿 印

監 事：関井 隆 印